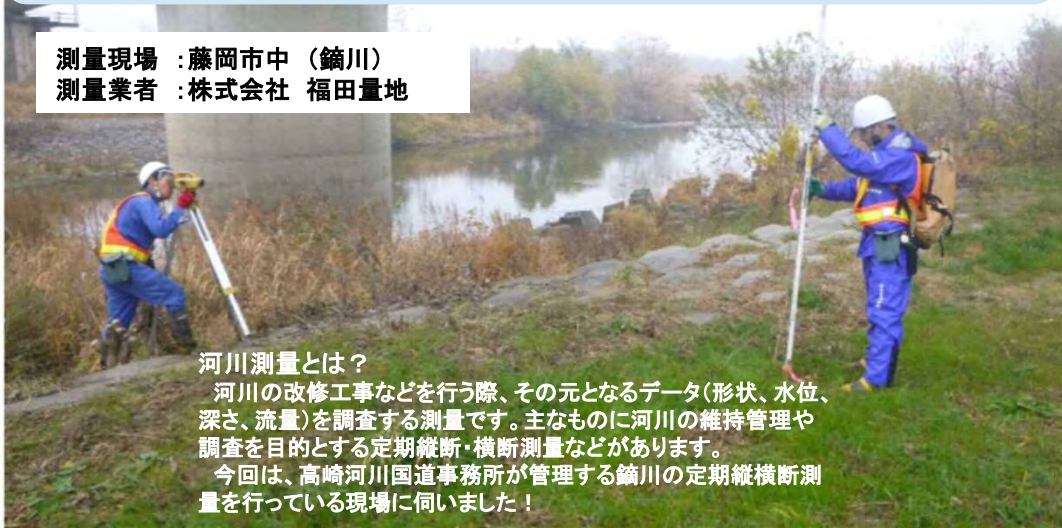


河川測量業務 ~H30 鐮川定期縦横断測量業務

平成30年12月7日

測量現場：藤岡市中（鐮川）
測量業者：株式会社 福田量地



河川測量とは？

河川の改修工事などを行う際、その元となるデータ(形状、水位、深さ、流量)を調査する測量です。主なものに河川の維持管理や調査を目的とする定期縦断・横断測量などがあります。

今回は、高崎河川国道事務所が管理する鐮川の定期縦横断測量を行っている現場に伺いました！

測量の流れ

今回は右岸側の測量を実施。3人でチームを組み堤防から測量スタートです！



2人一組となり高さを測定。



地道で緻密な作業を繰り返し、川まで進みます。



人の立ち入れない危険区域では、専用ドローンにレーザーキャプチャを搭載して計測する最新技術も使用します。

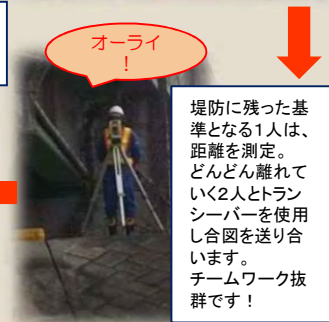


水際杭まで観測し右岸側は終了！現場では数値を測り、会社に戻ってからデータ化・図面化する作業を行います。



オーライ！

堤防に残った基準となる1人は、距離を測定。どんどん離れていく2人とトランシーバーを使用し合図を送り合います。チームワーク抜群です！



現場を支える技術者さん3名に直撃インタビューしました！



測量第二課・課長
石田さん
(入社18年目)

群馬県渋川市ご出身。かつては設計のお仕事もされていたそうで、幼少期からの地図好きが、このお仕事に就くきっかけとか。休日には子供と遊んだり、ドライブに出かけたりと、家族を大切にできる良きパパです♪



測量第二課・主任
品川さん
(入社6年目)

群馬県前橋市ご出身。工業高校時代に測量について学び、なんと、高校在学中に測量士補の資格を取得されたそうです！普段は麺類と甘い物が大好きで、おすすめはコンビニスイーツだとか☆



測量第二課
倉林さん
(入社2年目)

埼玉県ご出身。大学の法学部を卒業し、法律の知識を測量業務にも活かしたい！という志のもと、測量士(補)の資格取得を目指している。毎日1時間かけて通勤している姿は、若手社員の鏡！？

測量のお仕事

Q：この業界の魅力は何ですか？	A：多岐に渡る現場に行くため、普段行けないような場所に行けますし、道にも詳しくなります。
Q：この仕事をするために必要な資格はありますか？	A：必須ではありませんが、測量士・測量士補の資格があれば仕事の幅が広がります。
Q：この業務に向いている人はどんな人ですか？	A：ミリ単位の計測をしているので、細かいところに気を配れる人。体力勝負の時もあるので、体力に自信のある人。
Q：この仕事で苦労した事はどんなことですか？	A：測量は秋から冬の寒い時期にするのですが、山の測量で、現場が積雪したときは移動や作業にとても苦労しました。
Q：安全に業務を遂行するために気をつけていることは何ですか。	A：現場の状況を的確に判断し、危険な場所には無理をして行かない事も大切です。また、寝不足等で注意散漫にならないよう、日々の生活にも気をつけています。

安全第一 取材を終えて

皆さんの日々の緻密な作業により作成された膨大なデータが、管内の河川管理計画における礎となっているのだということを実感しました。また、インタビューでは、福田量地の皆さんの、お仕事に対する情熱と誠実さを強く感じる事が出来ました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました！

(西田・小林)

